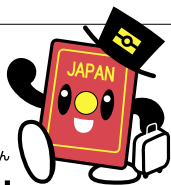


## パスポートは大切な 国際的身分証明書です。

パスポートイメージキャラクター パスボくん



### 管理をしっかりと。紛失・盗難に注意!

毎年約5万冊の旅券が紛失したり、盗難に遭っています。海外においてはスリ、置き引き、ひったくりなどに気をつけましょう。国内では置き忘れ、しまい忘れなど管理の不注意や空き巣に遭うケースも多発しています。これらの旅券は国際的な犯罪組織によって偽変造され、不正な出入国や人身売買に利用されることもあります。あなたの旅券が犯罪に利用されないよう紛失・盗難には十分気をつけてください。

### もしも旅券を紛失したら?

2006年3月20日から旅券を紛失したときの手続が変わりました。国内においては旅券事務所に、国外では大使館・総領事館などに原則自ら出頭して紛失一般旅券等届出書を提出しなければなりません。その際必要なものは、警察署に届け出たことを立証する書類とご本人の顔写真です。同届出書が提出された旅券は、失効処理され、その旅券番号はICPO(国際刑事警察機構)に通知されますので、後からその旅券を発見しても使用することはできません。

なお、紛失後に新たに旅券申請する場合は、新規申請同様、原則として戸籍謄(抄)本を提出する必要があります。

### パスポートに関する情報は外務省ホームページ (パスポートA to Z)をご覧ください。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport>

### 外務省海外安全ホームページ

<http://www.mofa.go.jp/anzen/>

## 2月20日は「旅券の日」

1878年(明治11年)2月20日に「海外旅券規則」が外務省布達第1号として制定され、「旅券」という言葉が初めて法令上使われました。これを記念して生まれた「旅券の日」、あなたも大切なパスポート(旅券)を確認する日にしませんか。



# ご存知ですか? IC旅券 (e-passport)

## パスポートに ICチップがついています。



## IC旅券とは?

IC旅券は、旅券冊子中央にIC(集積回路)チップを組み込んだカードを搭載しています。ICチップの中には、国籍や氏名、生年月日、旅券番号など旅券面の身分事項のほか、申請書に貼付されている写真から読み取った顔画像が記録されています。

## IC旅券導入の背景

近年、旅券の偽変造や成りすましによる不正使用が増加し、国際的な組織犯罪や不法な出入国に利用されています。それを防止するため、偽変造が困難で、安全性の高い旅券として生体情報認証技術（バイオメトリクス）の応用が国際的な動きとなっています。特に2001年の米国同時多発テロ以降は、テロリストによる旅券の不正使用を防止する観点から国際会議でも活発に議論され、また、米国がビザ免除継続の要件として各国にバイオメトリクスを採用した旅券の導入を求めています。

ICAO（国際民間航空機関）において策定されたIC旅券の国際標準では、記録する必須の生体情報として「顔画像」を採用しています（各国の判断で指紋、虹彩を追加的に採用することを認めています。我が国は「顔画像」のみを採用しています）。

## IC旅券になって何がかわる？

IC旅券の導入により、旅券の顔写真を貼り替えるなどの偽変造をしてもICチップの情報と照合することにより見破ることができ、偽変造対策が強化されます。また、今後、ICチップに記録された顔画像とその旅券を提示した人物の顔を照合することができる電子機器が各国の出入国審査場に配備されれば、他人による成りすましに対しても効果が期待されます。これにより、旅券の不正使用が抑制され、日本旅券の信頼性が維持・向上することで外国での出入国審査が円滑に行われることが期待されます。

身分事項  
ページ

ICチップ  
プラスチックカード  
の中に格納されており  
通常は見えません

プラスチック  
カード

## IC旅券の取扱い上の注意点

IC旅券は電子製品を内蔵していますので、強い衝撃を加えたり、高温の場所や磁気の強い場所に保管したりすると、ICチップに異常を来すおそれがありますので取扱いには注意してください。詳細な注意事項は、IC旅券中央のカード部分に記載されています。

## IC旅券の安全対策

ICチップに記録された情報が、ご本人の気付かない間（バッグに入れているときなど）に読み取られることのないように安全対策を施しています。

## もしもICチップが壊れたら？

何かの理由により、IC旅券のICチップが破損しても、所持人の身分事項や顔写真などは券面に表示されていますので、出入国審査等はこれまでと同じように処理することができます。したがって、ICチップが作動しなくても旅券は有効なものとして扱うことが国際的な共通認識となっています（また、ICチップの情報を読むかどうかは各国の判断になります）が、もし、旅券のICチップが壊れていると指摘された場合は、お近くの旅券事務所を確認してください。その結果、ICチップが作動しないことが判明した場合は、現行旅券を返納し新たな旅券を申請することもできます（通常の旅券発給手数料が必要です）。